

## 3月定例会

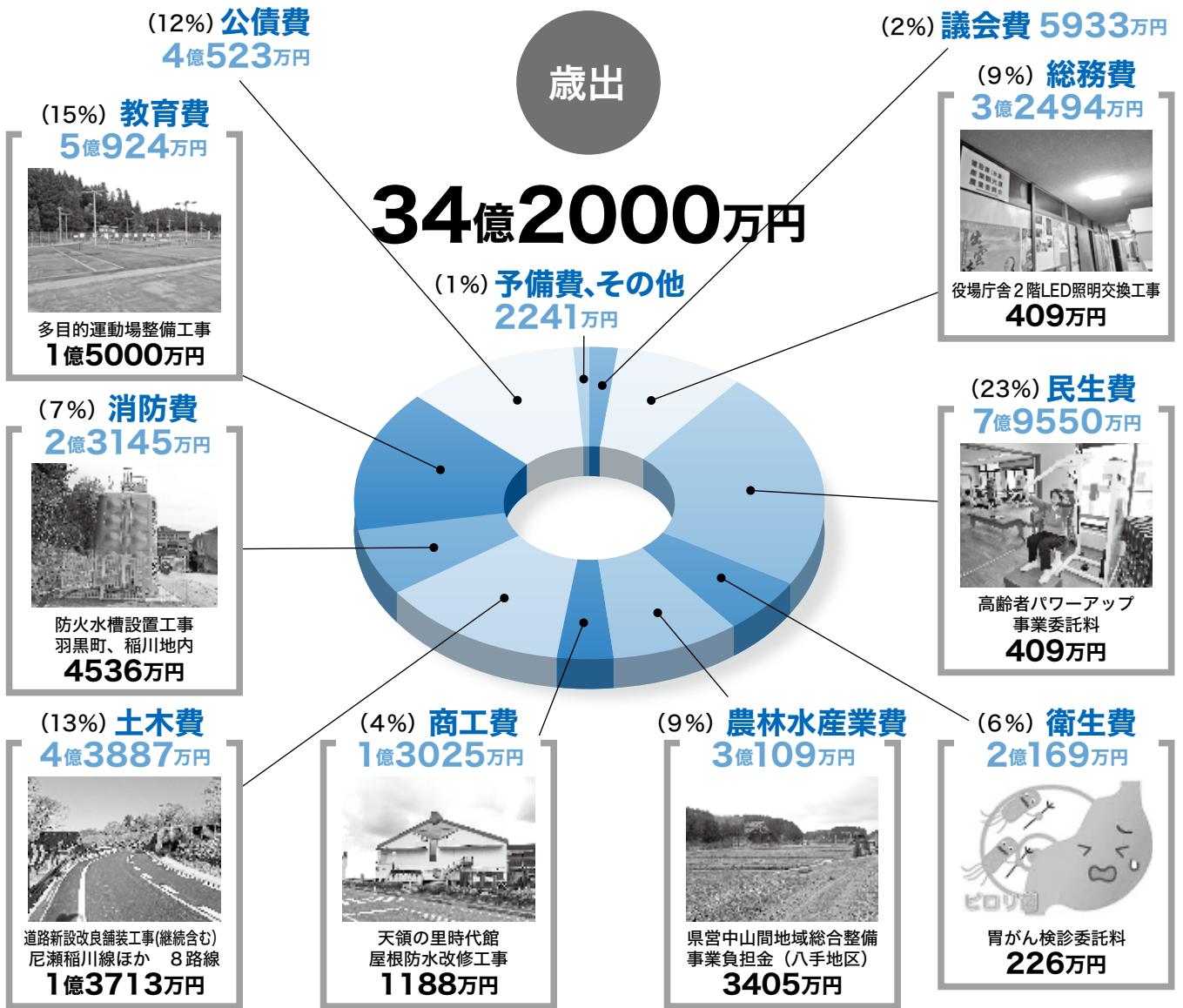
平成29年度予算	2
予算審査特別委員会	4
3月定例会	6
全員協議会	8
一般質問(3人が町政をたず)	10
視察報告	13
表彰	14
中学校生徒との意見交換会	15
町民の声(今の夢)	16

## もくじ

# 平成29年度の注目

# 『子育てしやすい環境づくりの実施』 『防火対策の強化』

## 歳出の内訳



## その他の主な事業は

### 【一般会計】

- ・「旅する新虎マーケット」出展負担金 100万円
- ・まるごとオーナー実行委員会負担金 170万円
- ・汐風食堂実行委員会負担金 960万円
- ・町新生活スーパー住まい取得・リフォーム支援補助金 600万円

- ・町住宅用消火器設置助成金 135万円
- ・奨学金返還支援事業助成金 150万円
- ・中学校校舎棟屋上防水工事 2624万円

### 【特別会計】

- ・団地造成工事(松本東側の団地) 2000万円



# 平成29年度当初予算は52億9850万円

(前年度比 1.6% 8250万円増額)

一般  
会計

**34億2000万円** (前年度比3.3% 1億1000万円増)

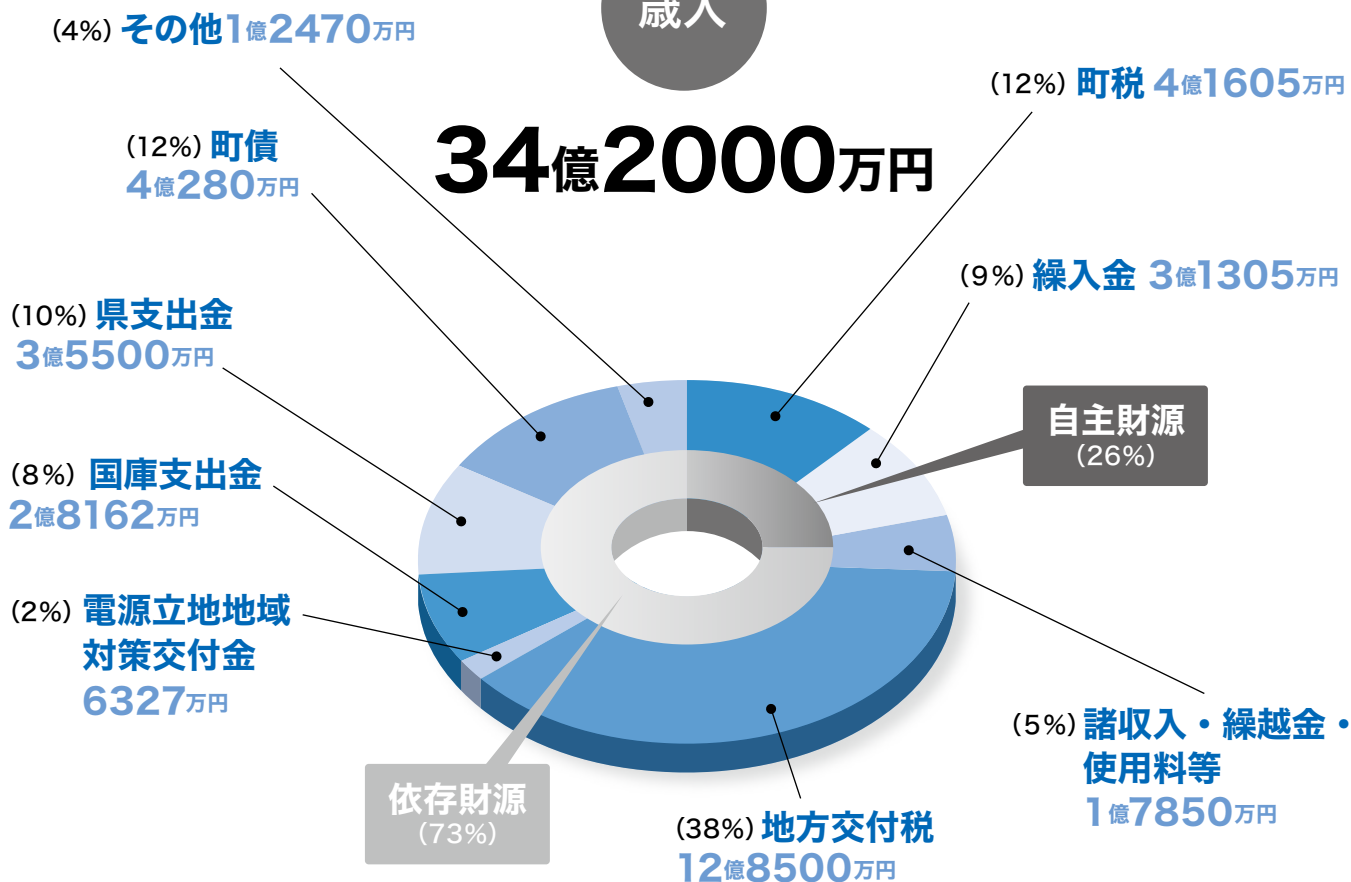
特別  
会計

**18億7850万円** (前年度比-1.4% 2750万円減)

## 歳入の内訳

歳入

**34億2000万円**



## 特別会計

会計名	平成29年度	対前年度増減額	増減率
国民健康保険事業	6億2500万円	△700万円	△1.1%
介護保険事業	6億8100万円	800万円	1.2%
後期高齢者医療	5590万円	110万円	2.0%
簡易水道事業	1億6620万円	△2120万円	△11.3%
特定地域生活排水処理事業	1450万円	△10万円	△0.7%
農業集落排水事業	1億1150万円	△120万円	△1.1%
下水道事業	1億9550万円	1300万円	7.1%
住宅用地造成事業	2890万円	△2010万円	△41.0%
計	18億7850万円	△2750万円	△1.4%

※表示単位未満の端数整理により、合計と一致しないことがあります。

# 予算審査特別委員会

平成29年度一般会計・8特別会計は予算審査特別委員会に付託して審議の結果、全会一致で採択しました。委員会での主な質疑内容を掲載します。

ここが聞きたい!!



三輪 正 委員長

## 観光

「旅する新虎マーケット」  
出雲崎負担金

100万円

中川議員 「旅する新虎マーケット」と題して3ヶ月間東京虎ノ門ヒルズでブースを開設するが、具体的な内容はどうか。また、どの様な人をターゲットとしているのか。

総務課長 具体的には6月頃になると思う。本町出身者で東京在住の方に運営をお手伝いいただけるとありがたい。2020年のオリピックでメインストーリーとなる場所であり良いPRになると思う。

## 子ども・子育て

防犯灯設置料

42万円

加藤議員 防犯灯設置料が増額になっている。中学生からは通学路に設置してほしいとの声があるが対象になるか。

総務課長 どのこととは言えないが、通学路には暗いところがあるので増やしていく。

## 小中学校モップ借上料

17万円

高桑議員 学校で少人数でも効率よく清掃できるモップの数は足りているか。

教育課長 学校から予算要望が上がっている金額で足りているものと考えている。

## 保健室シャワールーム設置工事

108万円

中川議員 小学校の保健室にシャワールームを設置するが理由を伺う。

教育課長 学校から要望がありアトピー性皮膚炎の児童等が身体を清潔に保つために必要。

## 小中学校入学祝い金

26万円

仙海議員 入学祝い金について入学後の支給ではなく準備金として入学前に支給し学用品や制服等の購入に使われるよう検討すべきでは。

教育課長 現在の要綱では行えないが、保護者の希望が多ければ検討したい。

## 地方創生・定住

住宅無敵化補強事業補助金

110万円

宮議員 住宅無敵化補強とあるが、土砂災害防止法のレッドゾーンにはどの位の家があるか。また、どのような補強工事を考えているか。

建設課長 レッドゾーンには約350軒ある。補強のイメージは雪国の一階部分が車庫で2・3階に木造住宅をのせる感じである。現在、国交省の目安を参考に検討しており、今後の全員協議会で詳しく説明する。



ピカピカの一年生  
(小学校入学式)

### 介護職員等緊急確保 対策事業補助金

140万円

仙海議員 町内の福祉事業

所に補助金を出すのが、支給されるお金は自由に使えるのか。税金であるために使い道はしっかりと指導すべき。

保健福祉課長 職員の採用に

あたり準備金として補助する。個人の判断になるがその様に指導していきたい。

## 福 祉

### 高齢者福祉タクシー 利用助成

647万円

中野議員 利用券は使われ

ず残るものもあるが、一人当たりの助成額を増額できないか。

保健福祉課長 利用されない

方もいるが、使った方だけ

にまた支給すると、特定の方だけ優遇され、アンバランスになり今後検討したい。

### 一般ごみ収集運搬委託料

1669万円

加藤議員 分別の効果によ

り委託料が毎年減っている。高齢者が多い当町ではゴミの出しやすさを検討すべきでは。

町民課長 分別により委託

料が減少しているものと考ええる。今後もゴミの出しやすさを検討していきたい。

### 除雪機購入

82万円

宮下議員 ふれあいの里に

小型除雪機を購入するが、役場のものに対応できないか。

保健福祉課長 除雪車が入ら

ない所を除雪するもので、冬場は常時必要になるため購入したい。

## 地 域

### 行政区長報酬

647万円

諸橋議員 行政区長65人の

報酬があるが、小さな集落では運営が成り立たなくなってきた。集落の統合は考えていないか。

町長 歴史的なものもあり、

小さなものが良くないのではなく、小さくても一生懸命に頑張っている。現在の段階では集落の再編成をする気持ちはない。

### 伝統芸能後継者育成 事業補助金

96万円

田中議員 伝統芸能後継者

育成事業補助金を使いやす

い制度にすべきであり後継者が育たなければ町の発展に繋がらない。学校でもおけさを教える等、伝統芸能に対して指導すべきでは。

教育課長 要綱を変更し使

い易い制度にしたい。

町長 後継者が絶えるとい

う事は町にとってもマイナスで何としても残さないとならないと思う。



伝統芸能を伝えたい(良寛堂での盆踊り大会)

### 多目的運動場整備

1億5000万円

諸橋議員 多目的運動場整

備を行うが、今後はどの様にして利用者の増加を図っていくか。

教育課長 テニス人口の掘

り起こしや、無料開放デー等、野球場で行っているサッカー教室も多目的運動場で行うことを考えている。

### 副町長の選任に同意

山田正志氏

(平成29年4月1日から4年間)

人

案

事

件

# 「子は宝」多世代交流館建設に 1億5500万円追加補正

## 3月定例会で決まった補正予算

(△は減額)

会 計		補正額	補正後の予算額
一 般 会 計 (第7号)		3億4555万円	39億2246万円
特 別 会 計	国民健康保険事業 (第4号)	754万円	6億3889万円
	介護保険事業 (第4号)	△1314万円	6億7741万円
	簡易水道事業 (第4号)	△ 34万円	1億6932万円
	特定地域生活排水処理事業 (第1号)	△ 10万円	1450万円
	農業集落排水事業 (第3号)	△ 231万円	1億1058万円
	下水道事業 (第3号)	△ 464万円	1億7557万円
	住宅用地造成事業 (第4号)	△ 554万円	5151万円

### 一般会計補正予算 (第7号)

主な歳入

- ・地方交付税 ……8934万円
- ・地方創生拠点整備交付金 ……7497万円
- ・原子力災害対策事業補助金 ……2億5300万円
- ・ふるさと納税寄附金追加 ……1433万円
- ・「子は宝」多世代交流館建設事業債 ……7490万円

主な歳出

- ※1・「子は宝」多世代交流館建築工事 … 1億5500万円
- ※2・西越農環センター放射線防護対策事業 … 2億5200万円
- ・公共用施設維持補修基金積立 ……1000万円
- ・小学校体育館手洗設置工事 ……81万円

## 教えて 定 例 会



※1

「子は宝」多世代交流館はどんな施設なの？

「子は宝」を町民福祉のキーワードとして、子育てや療育相談、物販、カフェ、高齢者活動、カルチャー活動、小中高生の集いの場など、多世代多地域との交流の施設だよ。



※2

西越農環センター放射線防護対策事業は平成28年度の事業じゃなかったの？

確かに平成28年度に行う予定だったけど、体育館の気密性に問題があり改修を行うと予算が膨らむため、検討をやり直したためなんだ。非常時には体育館にエアテントを設置し対応するんだ。費用は全額国が負担するんだよ。





3月9日

# 補正予算質疑

主な質疑内容を掲載します。

## 小学校空調設備 改修工事減

△760万円

加藤議員 12月定例会で議会からの意見で減額になったと思うが減額の内容は。

教育課長 高圧受電設備を

新たに入れず既設のものを使用する。暖房もエアコンを使用し現在のものは使用しない。そのために減額になった。

## 木造住宅耐震診断 補助金減

△18万円

## 木造住宅耐震改修 工事等補助金減

△78万円

宮下議員 住宅耐震診断・

改修工事等どの位の利用があったか。また、利用が進まなくなっている理由は何か。

建設課長 平成28年度は利

用者はいなかった。PR不足もあるのかもしれないが、改修に掛かる費用も安くないので進まない理由になっていると思う。

## 教員住宅修繕工事

95万円

三輪議員 大きな金額だがどの様な修繕を行うか。普段の状況はどの様になっているか。

教育課長 石井町の町営住

宅だが平成22年度末から空き室になっている。外回りや給湯器など大きな修繕が必要になった。



修繕を行う教員住宅（石井町）

## 町民文化教室講師 謝金減

△40万円

高桑議員 家庭教育学級講師謝金や、町民文化教室講師謝金が減額になっているがどの様な理由か。

教育課長 家庭教育学級は

県の公開講座と合わせて行ったため、町の負担額が

なく減額になった。町民文化教室は、当初、新規に計画していた3つの事業を実施できなかった。



人気の文化教室（絵画）

## 保育所通園バス運 行事業補助金減

△84万円

田中議員 保育園の園児の減少による減額か。また、どの様なものに使われるのか。

保健福祉課長 人件費や燃料

代、バス修繕費の8割を補助している。今回はバス修繕費が見込みより少なかったもので、園児の人数によるものではない。

## 町営住宅使用料減

△107万円

諸橋議員 使用料が減額になっているが、現在町営住

宅は何棟空いているのか。また、民間のアパートでも築30年を超える入居率が悪くなるので、今後はその対策も考えていかななくてはならないのでは。

建設課長 現在は3棟の空

きがある。その内、2棟は地震等で被害があり、大きな改修費用が掛かるために募集はしていない。

## 常備消防委託料減

△535万円

中川議員 年度当初に委託料を交わす訳で今回は見込みで減額すると思うが根拠は何か。12月定例会等で減額し他の事業に減額分を使うことができるのか。

総務課長 今回の減額は柏

崎の消防施設で交付税措置を受けたものがあり大きな減額になった。3月補正の段階で減額が来ているので今回計上した。

## がんばる街なみ支援 助成金減

△100万円

仙海議員 当初予算より全額減額しているが利用者がいなかったと思われる。今後は何らかの方策を考えているのか。

産業観光課長 現在、街なみ

再生交流推進室で検討を行っている。平成29年度末までには提案をしたいと思う。

# 全員協議会

主な質疑について報告いたします。

## 第1回 1月13日

### 介護予防・日常生活支援 が変わる

**保健福祉課長** 介護保険制度の改正に伴い、新しい総合事業が4月から開始される。

いきいき教室は月額1000円の利用者負担をいただいてサービスを提供する。介護予防・生活支援サービスでは個々のケアマネジメントに基づいて提供していく。現在4カ所で行っている地域コミュニティセンター事業は、専門職を派遣する等、内容を充実させていく。また、ふれあいの里での筋力トレーニングは、空いている時間帯のみでの自由解放したい。

**仙海議員** 同じふれあいの里で行うわけだが、曜日の調整はどうか。送迎はどうなるか。  
**保健福祉課長** いきいき教室は半日で曜日进行调整しており、1回100円で希望者を送迎する。パワーアップ教室は、

自由参加で指導員をつけて展開するが、送迎はない。

**三輪議員** 地区サロンの現状と効果は。開催されていない地域があるのはなぜか。

**保健福祉課長** 自主運営制で中心となる方がいるところは早く立ち上がっている。全町を網羅するように地区を少しずつ増やしている。

### 松本みなみ団地の 分譲価格は

**建設課長** 土地の状況に応じて若干の差はあるが、概ね1㎡あたり1万2700円が基本の価格となる。松本東側の団地16区画も控えており、広くPRしていきたい。

**宮下議員** この分譲は、ひまわりハウス等の補完的な要素を持つという考えだったが、その関係はどうか。

**建設課長** 新生活支援の他に新定住支援の制度があり、対応していきたい。

### 町下水道事業の 経営戦略について

**建設課長** 本町の汚水処理に係る3特別会計について、維持管理費用は使用料収入で賄っているが、起債の償還分は交付税措置される一般会計繰入金に依存している。

この交付税措置縮減のために総務省から対策を強く求められており、経営戦略を策定した。今後、処理場の統合や更新を組み込んでいく。

**三輪議員** 本場に必要施設を精査すべきであり、下水に接続のない家庭に働きかけていくべき。

### 小中学校の管理運営規則を 平成29年度から改定

**教育課長** 長期休暇についての定めを変更したい。休日祝日の増加、授業時間数の確保、英語授業の導入と学力向上の観点から柔軟に対応できるようにしたい。

### 海岸地区の火災について

**総務課長** 糸魚川大火の後、海岸部の水利強化

検討を進めていた矢先であった。初期消火が大切であり、各家庭で1本消火器を持っていただく支援を検討している。対応の検証、問題課題等を反省し、今後の対応に活かしたい。

**諸橋・宮下・三輪議員他** 防災

無線が分からなかった、出動したが場所がすぐに特定できなかった、出動が遅かった、装備が足りなかった等の反省点がある。

**総務課長** 役場には必ず職員がいる。防災無線については反省して今後対応する。

**町長** 消防団員はよく頑張っている。今回の意見はしっかりと受け止め、幹部との調整をしていく。

### 町民体育館 修理後も雨漏りが続く

**仙海議員** 足場を組んで直したはずが、まだ雨漏りが続いている。原因をよく調べて、しっかりとした対策を取って欲しい。

**教育課長** 排水管の破損と思われる。緊急な対応と

合わせ、全体の防水工事を検討して行く。

## 第2回 2月21日

### 「ついでの家」 指定管理満了

**保健福祉課長** 平成29年1月31日をもって指定期間を終了したが、介護支援専門員の退職で基準が満たせないため、更新をしない。利用者に支障ないよう調整している。

### 介護予防・日常生活支援は どう行われるか

**仙海議員** 今までは無料であったのに、新設されたことで利用料が発生するのが、「いきいきデイサービス」と「高齢者パワーアップ教室」の違いは何か。

**保健福祉課長** この度、事業内容を見直したことから、内容等が大きく変わった。係る経費の概ね1割程度を利用料として設定している。

「いきいきデイサービス」は定員があり、包括



支援センターで策定したケアプランに基づいて専門職を配置する。「パワーアップ教室」は自由に筋力トレーニングをするもので、すべての高齢者が対象となる。

**仙海議員** 看護師や運動指導士が多数の高齢者をみることに不安はないか。安全なよう配置をして欲しい。

### 第3回 3月17日

#### 土砂災害警戒区域での住宅増改築等に補助を新設

**建設課長** 土砂災害特別警戒区域内で住宅の増改築、新築をする場合、土地の補強工事費等について補助を行う事業を29年4月から開始したい。国、県の補助と合わせて行うが、他にない町独自の制度と思う。

警戒区域に指定されたことで、住宅の増改築に制限を受けるわけであり、大変であるからこそ町としてできることを支援したいとした制度である。

**諸橋・宮下・三輪議員** 制度としては良いと思うが、土砂災害に対応する土地や住宅の工事はとても高額になる。

個々に住民が対策を取るのにはなかなか難しいのではないかと。土地の所有者の問題や1件だけでは行えないケースも考えられる。

#### 保育園の給食について

**中川議員** 出雲崎保育園では飯米を持参する副食給食で、小木之城保育園では完全給食とのことである。機材がそろっていないということだが、無料化と、温かいご飯を提供できないものか。合わせて出雲崎保育園では、この冬、電解水を利用してウィルス性の疾患拡散防止に効果があったと聞いた。他でも利用を検討できないか。

**保健福祉課長** 状況を調査し、町としてできることは適切に対応していきたい。

#### 廃油の回収について

**三輪議員** 小学校で廃油を回収しているが、住民が持って行

きやすい状況にないと思うので改善できないか。

**町民課参事** 小学校では常時、中学校は資源物回収の時に回収を行っている。

#### 児童クラブの定員について

**仙海議員** 新年度、児童クラブを希望して入れなかった児童がいると聞いた。本町で待機児童が出ないように一考願いたい。

**保健福祉課長** 今年度は申込みが多く、家庭状況を加味した上で面談を行い、数名の方に当面はお待ちいただいている。今後、状況をみて調整を図っていく。

#### その他に協議されたこと

- \* 海岸の火災後の処理はどうなっているか。
- \* 火災予防として、灯油等揮発性のものの保管指導について
- \* 海岸道路の小砂利処理について
- \* 東京オリンピックを見据えて「奥の細道」聖火リレーの誘致を
- \* 放課後子ども教室は、無料で英語活動を実施

### 議会のついでぎ(主なもの)

平成29年1月～3月

- |                    |                             |                                      |  |                     |  |  |                               |                     |  |
|--------------------|-----------------------------|--------------------------------------|--|---------------------|--|--|-------------------------------|---------------------|--|
| 27                 | 2218                        | 171413                               | 10   | 9                   | 2  | 2322211615   | 16                            | 13105               | 1  |
| 議会報特別委員会(議会だより95号) | 出雲崎中学校中学生との意見交換会<br>↓詳細はp15 | 現地視察(松本みなみ団地)↓詳細はp13<br>東京出雲崎会総会(東京) | 予算審査特別委員会 ↓詳細はp4、5<br>議会運営委員会<br>定例会最終日<br>全員協議会 | 議会運営委員会<br>3月定例会招集日 | 議会報特別委員会(議会だより95号)<br>社会産業常任委員会<br>総務文教常任委員会<br>定例会2日目(一般質問) | 新潟県町村議会議長会定期総会(新潟市)<br>↓詳細はp13<br>総務文教常任委員現地視察(出雲崎小学校) | 議会報特別委員会(議会だより94号)<br>↓詳細はp13 | 社会産業常任委員現地視察(観光ルート) | 議長会議(新潟市)<br>議会報特別委員会(議会だより94号)<br>全員協議会 |

# 海岸地区における 火災予防・消火活動



中川 正弘 議員

## 一般質問

町長

積極的に進めていく

町長 山が迫っている所もあり、地理的、地域的な事情を考慮しつつ、より効果的に充実させていく。

中川 海岸地区の家の多くは、店・茶の間・寝間・台所・風呂というように、火を使う所が家の一番奥になっている。海側は一般に裏手が開け、消火活動がしやすいが、山側は場合によっては人が入りづらい所もある。海岸に数カ所、防火水槽が埋設されている。今後、地上式を設置していく予定と聞いているが、海側でなく山側にこそ設置すべきではないか。

### 山側に防火水槽を

# お尋ねします お答えします



### グループ火災報知器の設置を

中川 飛騨高山では、密集した家々がグループで火災警報器を設置し、警報板を見ればどの家で鳴ったかが分かり、すぐに駆けつけられ、初期消火に役立っている。高齢化が進み独居者が多く、初期消火・通報を同時に一人ではできない。有効と思うが、当町も整備をできないか。

町長 初期消火に非常に有効である。各家庭に付けた火報も10年の更新時期であり、近所のご理解が頂ければ、即、積極的に検討していく。

### 消火栓を直立式に

中川 消火栓は道路に埋設されて、ふたが開きづらく、操作しにくい。順次操作しやすい直立式に変更できないか。

町長 海岸地区は土地の制約が多く消火栓は道路下にある。より効果が出るよう、密集している所から重点的に変更する。

### まちかど消火栓の検討を

中川 佐渡の宿根木では、辻々に「まちかど消火栓」がある。壁に金属性の細い筒先がついた50m以上のホースがついている。高齢者でも取り扱いが簡単で、遠くまで消火できる。初期消火には非常に有効と思うが検討してはどうか。

町長 消火器ではなくに無くなる。これは我々も検討しており、有効か

つ貴重な提案と受け止め推進する。

### 町の土地に火災帯を

中川 今回の火災では、空き地が火災帯の役目をした。連続した家並みがあだにならないよう、今後、町の土地に火災帯という考えはないか。

町長 教訓として大災害に対応して、空き地の景観を保ちつつ、火災帯を今後検討していく。

### 街並みに合うように

中川 妻入りの街並みに、赤い消火器、消火ホース等の箱があるが、街並みに合うよう格子にしたり、色を変えたりできないか。

町長 一目瞭然という形できたが、街並みや時代に即した形で再構築していく。



三輪 正 議員

# 病児・病後児保育の体制整備について

## 町長 広域圏での利用を考える

### 病児保育の体制を急ぐべき

三輪 町の積極的な若者世帯誘致によって若い世帯が増えているが、町内出身者と違い、祖父母が近くにいないため、共働き世帯では子どもが病気になるのと保育園では預かってもらえず、両親のどちらかが職場を休まざるを得ない現状である。病児・病後児保育の体制を急ぐべきと思うが、考えを伺う。

町長 専用スペース、看護師の常駐等の要件があり、町内での開設は難しい。柏崎市の国立新潟病院では受け入れ可能。長岡市では5カ所あるが市外の受け入れはしていない。平成30年度を目的に利用できるよう検討していると同つて。当町で建設する「子は宝世代間交流施設」の中で解決できないか検討が必要と考えている。

### 旧三島郡で病児保育施設を

三輪 柏崎、長岡は遠い。町単独では維持が難しいので広域圏の事業として旧三島郡地区で施設が必要と考えるが。

町長 遠い地域では不便であり近くに必要と思う。病児病後児保育は責任重大であり、町として考えていきたい。

## 山林資源の有効利用促進を

### 町長 境界調査は地籍調査を優先する

### 山林境界調査の実施を



機械化された間伐作業

三輪 町の総面積4438ヘクタールの約70%は山林である。戦後、植林された木も利用できる状況にある。高齢化や荒廃により境界情報の喪失が急速に進んでおり、間伐の範囲が特定できない、道の整備ができないなどの問題が多い。早急に調査の実施が必要と思うが、町の考えを伺う。

町長 山林境界調査は地籍調査の前に進める事業。将来的に立ち合ってくる人がいなくなる。更

正図を基に台帳を整備して地籍調査を優先する。

### 次世代に山林を引き継ぐ必要性

三輪 土地改良でも不在の方がおり、このような状況が今後は増えていくと思われる。次の世代に山林をスムーズに引き継ぐ必要があるが。

町長 地籍調査を行い、その境界から山林の調査に入る。関係する所有者の境界が確定すれば物事がスムーズに動くと思う。所有者の要望に応えながら進めることが、将来禍根を残さない境界確定になると考える。

### バイオマス発電所誘致を

三輪 山林資源の有効使用と雇用の場の創設のために木質バイオマス発電所の誘致をする考えはないか。

町長 誘致は考えていない。



# 高齢者が活躍できる場を



高桑 佳子 議員

町長

## 相互扶助の基本である 地域の結びつきを強固に

### 地域の支え手として 活躍の場の整備を

**高桑** これから続く、超高齢化社会を見据えて、当町でも健康寿命を延ばすための様々な施策がとられている。これからのまちづくりには、従来の高齢者福祉の取組に加えて、元気な高齢者には地域の支え手になってもらうことが必要と考える。

老人クラブや婦人会、NPO法人ねつとわーくさぶらい等が、当町で活動し、地域に貢献されているが、年々高齢化されており、運営に支障があるケースもあると聞く。また、女性が活躍できる場面はもつと考えられるのに、活かせていないのではないかと。行政として、地域の実情に沿った社会貢献のメニューを提案するため、ボランティアセンターなどの核となる組織を整備するつもりはないか。

### 現在の組織を強固に

**町長** 日本老年者学会では、「高齢者」という定義を変えてきている。出雲崎町でも、豊富な人生経験を活かして、自ら率先して行動し、活躍されている方々がいる。

組織には、強いリーダーが必要である。新しい組織を作るのではなく、行政からも働きかけて、現在の組織の中で強いリーダーを養成し、相互扶助の基本となる地域の結びつきをより強固にしていくべきと考える。

### 出雲崎町にも 子ども食堂を

**高桑** 今、全国に設置が広がっている「子ども食堂」。

県内にも開設されている。子どもたちが一人で来ても良い場所であり、そこに集まるのは子どもたちだけでなく、様々な世代が参加者・運営者・ボランティアとして関

わっている。そして、コミュニティションを軸に、地域にに応じて様々な活用が生まれ、効果を上げていく。

民間での立ち上げが主だったが、自治体が開設する動きもある。女性やベテランの方々が持つ食のスキルを活かし、多世代を巻き込んで展開する良い事業と考えるが、町長の考えを伺う。

### 他町村を参考に検討する

**町長** 他町村の事例を参考にしながら検討してみたい。当町でも、多世代交流館を建設する予定であり、多地域多世代の方たちの交流を推進する場のひとつとして進めるつもりでいる。

### 行政から積極的に 仕掛けていくべき

**高桑** 県等の助成金には、老人クラブ等の地域団体が活用できる有利なものがある。

個々に申請をクリアするには大変だが、長岡市の市民協働センターでは、助成金の申請のやり方を教えてくれる等、活動を支援してくれる。行政からも積極的に仕掛けていくことが必要だと考える。



NPO法人ねつとわーくさぶらいの総会に多数の方が出席

# 視察報告



## 01

### 観光ルート視察 社会産業常任委員会

1月13日、所管事務調査として観光ルートの整備状況の現地調査を行いました。

調査は天領の里、獄門跡を調査対象とし、設置されている擬木フェンスや看板等の腐食及び破損箇所について現状の報告と今後の対策の説明を求めました。

結果、修繕が必要な箇所は、順次修繕や整備が進められておりましたが、今後未整備箇所についても継続して予算措置ができればさらに整備を進めていきたいとの詳細な説明を受けました。

当委員会としては、町民はもとより観光地を訪ねる多くの人々の安全を図る観点、観光地としての美観上の観点から、今後は担当課による定期的な監視や保守点検が必要であるとの意見が提出され、未整備箇所については早急なる修繕や整備を進めることが必要との結論に達しました。

(委員長 宮下孝幸)



## 02

### 出雲崎小学校視察 総務文教常任委員会

2月23日、所管事務調査として出雲崎小学校のコンピュータ教育に関連することを中心に現地調査を行いました。

3年生のコンピュータ授業を参観し、その後、学校との意見交換を行いました。授業は「名刺の作成」で、3年生の使用ソフトでは使用漢字が少なく、児童の名前の漢字が無いなど問題があり、パソコンの操作には個人差が大きいと感じました。

参観後、校長室にてコンピュータ教育の問題点について意見交換し、昼休みを利用した練習を行っていると報告がありました。また、ノーメディアデーや、駐車場などについても意見交換いたしました。

当委員会としては、コンピュータ教育の小学校の連携強化とノーメディアデーの徹底と改善、駐車場不足対策などを進める事が必要であるとの結論に達しました。

(委員長 三輪 正)



## 03

### 松本みなみ団地視察

3月17日、議員全員で4月11日から申し込みを開始する「松本みなみ団地」の現地視察を行いました。

建設課長より分譲開始に向けての準備状況などについて説明を受け、7区画の早期の完売に向けて全力を挙げている旨、説明を受けました。

議会としては、町外から転入する若い世帯、町が積極的に進める若者向け住宅の入居者の受け皿として、全区画の早期完売に全力で取り組む必要があるとの結論に達しました。

(委員長 三輪 正)



## 全国町村議会議長会より2名が表彰



中野 勝正 議員  
議員在職15年表彰



山崎 信義 議長  
特別功労者表彰

山崎信義議長と中野勝正議員が、全国町村議会議長会より自治功労者表彰を受け、3月定例会において伝達式を行いました。

山崎議長は町議会議長として議会運営において功績があったことによる表彰で、中野議員は町議会議員として多年にわたり功績があったことによる表彰です。

## 平成28年度 政務活動費報告

(単位：円)

議員氏名	交付額	支出内訳				合計	返納金
		調査研究費	研修費	資料購入費	事務費		
山崎 信義	60,000	25,085		32,060	3,834	60,979	0
仙海 直樹	60,000	25,085		67,992	600	93,677	0
宮下 孝幸	60,000	25,085		29,483	5,627	60,195	0
中野 勝正	60,000	25,085		18,900	2,754	46,739	13,261
中川 正弘	60,000	25,085		37,116		62,201	0
高桑 佳子	60,000	25,085	17,000	18,900	600	61,585	0
田中 政孝	60,000	25,085		44,040		69,125	0
三輪 正	60,000	25,085		38,070		63,155	0
加藤 修三	60,000	25,085		30,624	7,459	63,168	0
諸橋 和史	60,000	25,085		37,877	2,606	65,568	0

※月額5,000円×28年度活動月数(12カ月)で交付



# 出雲崎中学校生徒との意見交換会



3月22日、出雲崎中学校生徒と議会との意見交換会が役場議場にて行われました。

**安達新茄さん** 役場からてまり団地へ行く道路の白線が消えている所がある。危ないので直してほしい。

**議会** 町で確認して、みなさんが安心して通学できるようにする。

**阿部倫果さん** 通学路には表示をして、ドライバーが注意しやすいようにしてほしい。

**議会** 町に話を伝えていく。特に必要な箇所は聞かせてほしい。

**遠藤大輝さん** 町には働く場所が少ないと聞く。企業誘致などは行っているのか。

**議会** 大きな会社を誘致するには労働人口が足りない。今後、長岡北ス마트インターができるので、検討していく必要がある。

**北谷三琴さん** 夕暮れ時にウォーキングをしている人を見かける。ライトや反射板を付けないと危な

いが、啓発活動は行っているのか。

**議会** 健康のために歩く人が増えている。たすきを掛ける等の方法があるので、検討していく。

**下條優大さん** 町の知名度は高いが観光スポットが少ないと思う。文化財や観光資源を積極的に発掘し、PRする必要が

**議会** そのとおりだと思う。観光資源が豊富な町なので、観光立町を構築すべきと思う。

**末武遥香さん** 空き家が古くなって壊れそうな場所もある。撤去するべきではないか。

**議会** 所有者を特定できないと簡単に壊せない。対策を考えていく。

**外川美咲さん** 町の人口が減り続けている。人口を増やす対策としてどんなことをしているのか。

**議会** 現在も若者世帯の定住促進事業を進めて

いる。希望の持てる町づくりを考えていかなければいけない。

**諸橋隆成さん** 駅から役場までの歩道の一部が途切れている。また海岸へ向かう道は歩道が狭い。

**議会** 歩道はまもなく工事が始まると思う。海岸への道は県で道路を広くする計画がある。

**吉田鈴音さん** 駅から良寛記念館までの道で、木の枝が車道まで伸びている。整備を徹底してほしい。

**議会** 必要な対策をとっていく。気が付いたところがあつたら教えてほしい。

**吉田理乃さん** 道端にごみが落ちていて。清掃作業をしているが、ごみを捨てる人がいると残念に思う。ポイ捨て対策にはどんなことをしているか。

**議会** 春と秋にクリーン作戦を実施して清掃をしている。道路にごみを置かないことが大切。各所で防犯カメラも設置している。

**その他**

- ・火災対策について
- ・野良猫対策について
- ・家庭でのごみ焼却について
- ・海岸の商店について

## ご参加いただいた中学2年生の皆さん

安達	新茄さん	阿部	倫果さん
遠藤	大輝さん	北谷	三琴さん
下條	優大さん	末武	遥香さん
外川	美咲さん	諸橋	隆成さん
吉田	鈴音さん	吉田	理乃さん

ご協力ありがとうございました

## 定

年を期に5年前、出雲崎にUターンして来ました。

最近、地震や大雨による土砂災害が多いなと感じている時、町の広報で、中越市民防災安全大学の案内が目にとまり受講しました。内容は、災害事例、災害後の避難所運営、応急救命法等多岐にわたり、大変

勉強になりました。

講義の中で、私が興味を持ったのは、避難所に於ける苦労話でした。中でも、外国人観光客に対する接し方のむずかしさだった事を知りました。習慣、マナーも違い、言葉も通じない人達と避難所の限られたスペースで一緒に生活する時として、いざごきもあつ

たそうです。

私は今、町の英会話サークルに通っています。20年東京オリンピックには、外国の観光客も多数日本を訪れます。佐渡が世界への観光客も増え、「金の道出雲崎」にも多くの外国人の訪れが期待されます。災害はいつ、どこで起こるか分かりません。いざという時は防災士として学んだ事、英会話サークルで身につけた言葉、何かの役にたてばいいなあ。今の夢です。



救命救急の受講

## 町民の声

### 今の夢

てまり団地 田口 哲男



## 表紙の小話

編集後記

町民の皆さまには、議会だよりを見ていただきありがとうございます。議会だより編集に携わり4年になりますが、当初、何もわからない中、先輩議会報委員の指導、県の広報研修、他町村の議会だより等を参考に「見て、読みやすい」をモットーに編集し、現在に至りましたが、皆さまの評価はいかがでしょうか？

昨年県内の議会だよりで、一般質問の見出しが実際のやりとりと異なっていたと抗議がありました。私たちが議会報委員も、情報をより正確に伝えなければならぬことを再認識して編集に努めています。

皆さまとつながる対話型の広報にするため、今後も皆さまから、活発なご意見や要望をいただき、さらなるレベルアップした広報にして、町がより良くなるようにと思っています。今以上に皆さまのご指導宜しくお願いします。

(加藤修三)

議会報特別委員会

- 委員長 高桑佳子
- 副委員長 加藤修三
- 委員 仙海直樹
- 委員 三輪正

議会だより発行予定

発行は年4回。発行日は4月24日・7月21日・10月23日・1月25日です。

議会の傍聴にぜひおいでください。

発行/新潟県出雲崎町議会 責任者/議長 山崎信義 編集/議会報特別委員会 題字/南波秋海 印刷/北越印刷株

〒949-4392 (専用) 新潟県三島郡出雲崎町大字川西140番地 TEL.0258 (78) 3112 FAX.0258 (41) 7322 HP <http://www.town.izumozaki.niigata.jp>